

シリーズ  
**25**  
間瀬5区

# 優しさと強い団結



間瀬5区区長  
巻田喜次郎さん  
(73歳)

■吹く風もすっかり春。天気の良い日は車に乗ってドライブなんていうのもいいですね。そんなとき、なんとなく足が向くのが——海。そこで今日の「おじゃまします」——地域情報「ネットワーク」は、間瀬5区におじゃましてみました。

「ここ間瀬5区は、位置的に間瀬地区のほぼ中心にあたりますかね。それに、地形的にも一番平坦なところなんです。区内には農協、商店それに寺院（専光寺）なんかもあり、そうりゃ以前は大勢の人たちが集まり、賑やかなものでした。今は道路整備や環境整



地区のすぐ脇を走る越後七浦シーサイドライン。その眺めは最高。

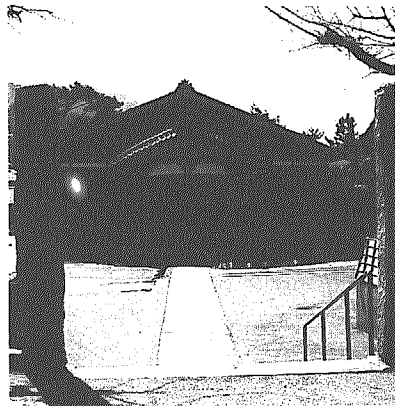
備が進み、とても快適な地区ですよ」と地区の特徴を話してくれる区長の巻田喜次郎さん。ここ間瀬5区にぎわいをみせていたのには二つの理由があります。その一つは間瀬の中心地だったこともありすが、もう一つは、今はもうなくなりましたが、当時はハザかけや竹細工に使う「真竹」の産地として、又、セリ市場（専光寺様境内）として近郷町村から大勢の人達が詰めかけた活気みなぎる地区でもありました。

「その頃は、真竹の産地としてセリ市なども開かれ、ほんとうににぎやかでした。でも今はもうその需要もなくなり、竹山に入る人もいなくなりました。春に近所の人達が竹の子探りに行くくらいでしょうか。ですから、その竹山も大分荒れてきましたね」と当時のにぎわいを懐しそうにも話す区長の巻田さん。ところで、間瀬5区は現在戸数が四十一戸、人口百二十人と間瀬地区では平均的な集落です。「ここは、戸数が四十一戸、その他にも空屋が七戸ほどありますかね。それに地区内に一人暮らしの世帯も多いんですよ。これから先のことを考えると一抹の不安を感じますね。この高齢化というか過疎化は、単一地区の問題じゃなく間瀬地区全体としての問題として考えていかなければなりません」と心配そうにも話す巻田区長さん。でも、この地区にはそんな暗い話ばかりじゃありません。春、秋の祭礼時、学区・地区合同運動会には昔ながらのまとまりで、それはもう大にぎわいとのこと。人と人とのふれあいというか、人情味

はまだまだ温かいものが残っています。

「うちの地区の自慢は、なんといつても隣近所同士はもちろん、区内全体の付き合いがいいことです。ですから、団結力なんか最高にいいですね」とニコリ話す区長さん。

そして最後に、「間瀬地区は、高齢化、過疎化が進んでいます。その歯止めのためにも今後は地区民の声を反映し、若者が定着できるような環境づくりや地域づくりを考え、進めていかなければなりませんね」とも願う区長さんの言葉から、閑静な中にも新しい動きを感じる間瀬5区でした……。



当時は竹のセリ市も行われた専光寺様境内

<b>間瀬5区</b>	
<b>ミニデータ</b>	
(人口と世帯)	
人口	120人
男	52人
女	68人
世帯数	41世帯
(平成2年3月1日現在)	

## 遊び心で音楽鑑賞

### 第2回ふれあいコンサート

#### 「群響・岩中吹奏楽と共に」

群響とは、群馬交響楽団のこと。N響に次いで二番目に歴史のある楽団です。それに地域における音楽文化の向上を目指し、積極的に地方公演を行う音楽家集団でもあります。今回は総勢70名の大編成で来村。岩中吹奏楽部とともに分かりやすく楽しい演奏を披露してくれそうです。田仕事も終えた日曜日、ご家族と一緒にこのすばらしいコンサートをたっぷり楽しんでみてはいかがでしょうか。

### 5月13日午後1:30開演

■会場 村民体育館 ■入場は有料です  
■詳しくは、公民館 ☎82-4444) までお問い合わせください。



### 訂正とお詫び

■広報いわむろ三月号の9ページ中で、英語検定で文部大臣奨励賞を受賞された「加藤卓君」とあるのは「加藤卓君」の誤りでしたので、ここに訂正しお詫びします。